

# とっとり若者Uターン・定住戦略本部 令和6年度 第3回本部会議

---

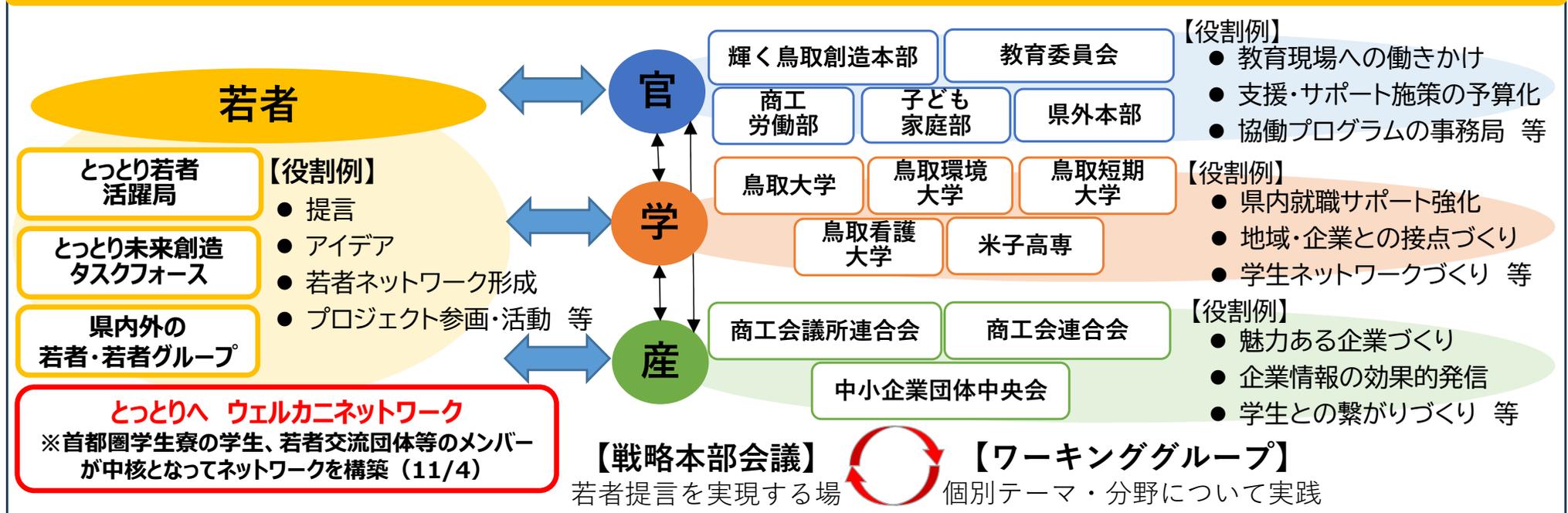
令和7年 2月4日(火)  
鳥取県庁 講堂

# 令和6年度「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」活動

転出超過(社会減)の主な要因となっている若者世代(10・20代)に対して、若者・産学官が協働し、**若者Uターン・定住に繋がる実効性のあるアクションを実行**

⇒ 「若者⇄産・学・官」の新たな協働の仕組み・流れの構築

## とっとり若者Uターン・定住戦略本部 (R6.4.1設置)



- ◆ 5/20 第1回 戦略本部会議
- ◆ 7/3 第1回 ワーキンググループ
- ◆ 7/29 第2回 ワーキンググループ
- ◆ 10/27 若者活躍局・タスクフォースによる知事への政策提案会
- ◆ 11/20 第2回 戦略本部会議
- ◆ 2/4 第3回 戦略本部会議



## 《若者の声・意見》

- 地域への愛着のためには、地域・企業との濃い繋がりがづくりや、具体的な鳥取の魅力・暮らしやすさをよく知ることが重要。
- 高校までの間に会える大人は親と先生くらい。鳥取には他にも素敵な年上・大人がいることを知ってもらうことがUターンに繋がる。

## 高校生地域活動の推進

・高校等に在籍する個人又はグループが行う自主的な活動や、大学生や地域住民・団体、企業等と連携した様々な取組を支援。(最大50万円)

《今年度1件交付決定》

高校生が商店街(米子市)に自習室を企画・運営しながら、同商店街の活性化の方策を地域ぐるみで考える取組。



自分たちで企画した自習室で学習する米子東高校生徒

## 若者の共感を生むデジタル教材の制作

・若者を含むPTメンバーの意見を踏まえ、ふるさとの素晴らしさを詰め込んだ新たな教材「とっとりデジタル教材」を制作中。  
⇒R7年度以降、教育ポータルサイトに掲載し授業で活用予定。



### 《とっとりデジタル教材》

・中高生を対象に、県内の各産業で活躍する「人」の紹介を中心に、職業選択、観光・産業・住みやすさ等を訴求する内容。

## やってみようプロジェクト

・戦略本部メンバーである鳥取大学生が発案し、大学生と県内中・高校生が協力したイベントを企画・実施  
《企画イベント》

「流し〇〇(まるまる)～鳥取のうまいもの流し隊～」(11/9(土)、@風紋広場)



## 《若者の声・意見》

- ① インターンシップは県内企業就職に有効。特に大学1, 2年生向けは企業説明より体験メインの方が参加しやすい。
- ② 県外出身者目線の方が、鳥取の魅力をよく分かっている。県外出身者の学生に取材という形で関わってもらくと、企業・地域と接点づくりにも繋がり効果的。
- ③ 人との出会いや地域との繋がりが深まるほど定住に繋がる。

### ①暮らすインターンシッププログラム開発

- ・若者目線で地域や県内企業の魅力を知ることができる「暮らすインターンシップ」を開発。
- ・地域内での職業体験とゲストハウス等の滞在・交流を組み合わせ、鳥取での働き暮らす将来像を描けるプログラムとしてモニタリング実施。

《令和6年度実施プログラム》

- 倉吉市：職業体験＋白壁土蔵群散策等で交流
- 琴浦町：職業体験＋ジャム作り等で交流
- 大山町：職業体験＋歴史・文化ツアーで交流



職業体験の合間に地域散策

### ②学生ライターによる企業・地域の取材等

- ・県内大学生が地域での体験・取材をした内容を「とっとりずむ」で記事化して公開・発信
- ※戦略本部会議メンバーが記事作成及び発信等をサポート



地域に新しくできたカフェを取材して魅力を発信

### ③学生CoREコミュニケーターの構築・運営

- ・地域の課題解決や相互交流を活性化することで学生の県内定着を促進することを目的に学生CoREコミュニケーター(18名)を委嘱。
- ・3つのテーマをプロジェクト化して活動。

1. 県内企業との連携プロジェクト
2. 地域との連携プロジェクト
3. 高校との連携「大高連携」



地域の親子行事にスタッフとして参画

## 《若者の声・意見》

- ① 県外居住者も多く集まる「はたちの集い」や、親・家族へのアプローチがUターンには有効。
- ② 県外進学・就職者と繋がるには「緩く繋がり続ける」のがポイント。東京の学生寮や出身者のキーパーソンに繋がりづくりを担ってもらうことが考えられる。

### ①親・家族へのアプローチ

・親・家族目線で帰省に訴求力のある動画を制作し、テレビCMで放送。  
 ・保護者にも県内企業を知ってもらう「社会見学(バスツアー)」を実施。  
 ・親世代が目にする「県政だより」での就職・移住情報の発信。



【鳥取県へのUターンCM】R7/1/13~19まで 民放3局で放映  
 【保護者向けバスツアー】8月に実施

### ①新成人へのUターン・定住キャンペーン

・「とりふる」の活用が最も見込まれる新成人を狙い、鳥取市、倉吉市、米子市で行われた式典で「とりふる」をPR。  
 ★式典参加者が一緒に記念撮影できるトリピー等のフォトパネルを設置。  
 ・年末年始で全市町村にチラシ配布。  
 ★新成人限定で登録者に500ポイントプレゼントする「とりふる登録キャンペーン～2025冬～」を実施。



式典会場に設置したパネルとの記念撮影が好評

### ②都市部と繋がり続けるプラットフォーム構築

・都市部で緩く繋がり続ける仕組み「とっとりハ ウェルカニネット ワーク」を構築。  
 ・イベント企画、情報発信等を通じ、若者のUターン促進の中核となる若者をプランナー(8名)・コンシェルジュ(4名)を任命。

#### 《活動内容》

- ★首都圏若者大交流会「鳥縁祭(とりえんさい)」(2/8)開催(予定)
- ★首都圏本県ゆかりの人・店・イベント等を取材。Instagramで順次発信中

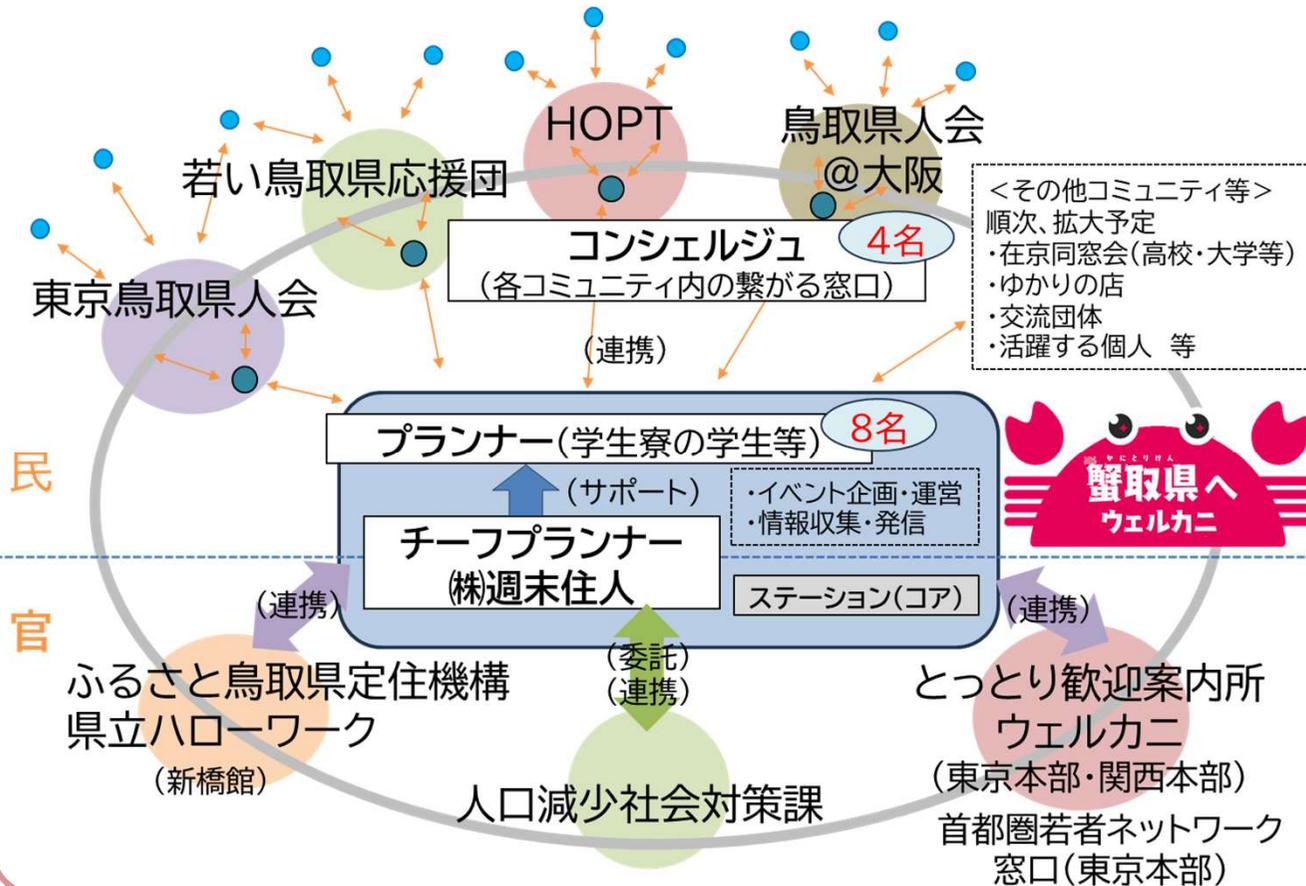


# (参考) 県外に出ても繋がる！「とっとりへ ウェルカニネットワーク」

- 県外においても若者と本県とが“緩く繋がり続ける仕組み”としてR6年度に構築
- 行政とのハブとなり活動の核となる若者(学生寮の学生等)を「プランナー」に、県人会・若者交流団体等のコミュニティの繋がる窓口となる者を「コンシェルジュ」に任命。
- 交流イベントの企画・運営や、本県ゆかりの店・人・コミュニティ等の取材を通じたSNS等による情報発信、各コミュニティの活性化を図る。

## 県外若者と本県の繋がりづくり

⇒ 関係人口の拡大、ゆかりの者のUIターンのサポート



## ウェルカニネットワーク“大交流会”

2/8(土)@渋谷ソラスタ

第1回

鳥取のご縁が集う  
学校外・社外の文化祭

鳥取県へ ウェルカニ

【ゲストトーク】  
鳥取ゆかりの  
あの人が!?

【ビンゴ開催】  
豪華賞品が  
当たるかも!?

2025 02/08 土

時間 15:30~17:30

場所: 渋谷ソラスタ4F  
(JR,東京メトロ、東急各線「渋谷」駅西口より徒歩6分)

主催: ウェルカニネットワーク実行委員会 後援: 鳥取県  
お問い合わせ: contact@shu-jyun.com

詳しくは公式SNSを  
check!

お申込みは  
こちら!

TOTTORI.WELKANI.NET

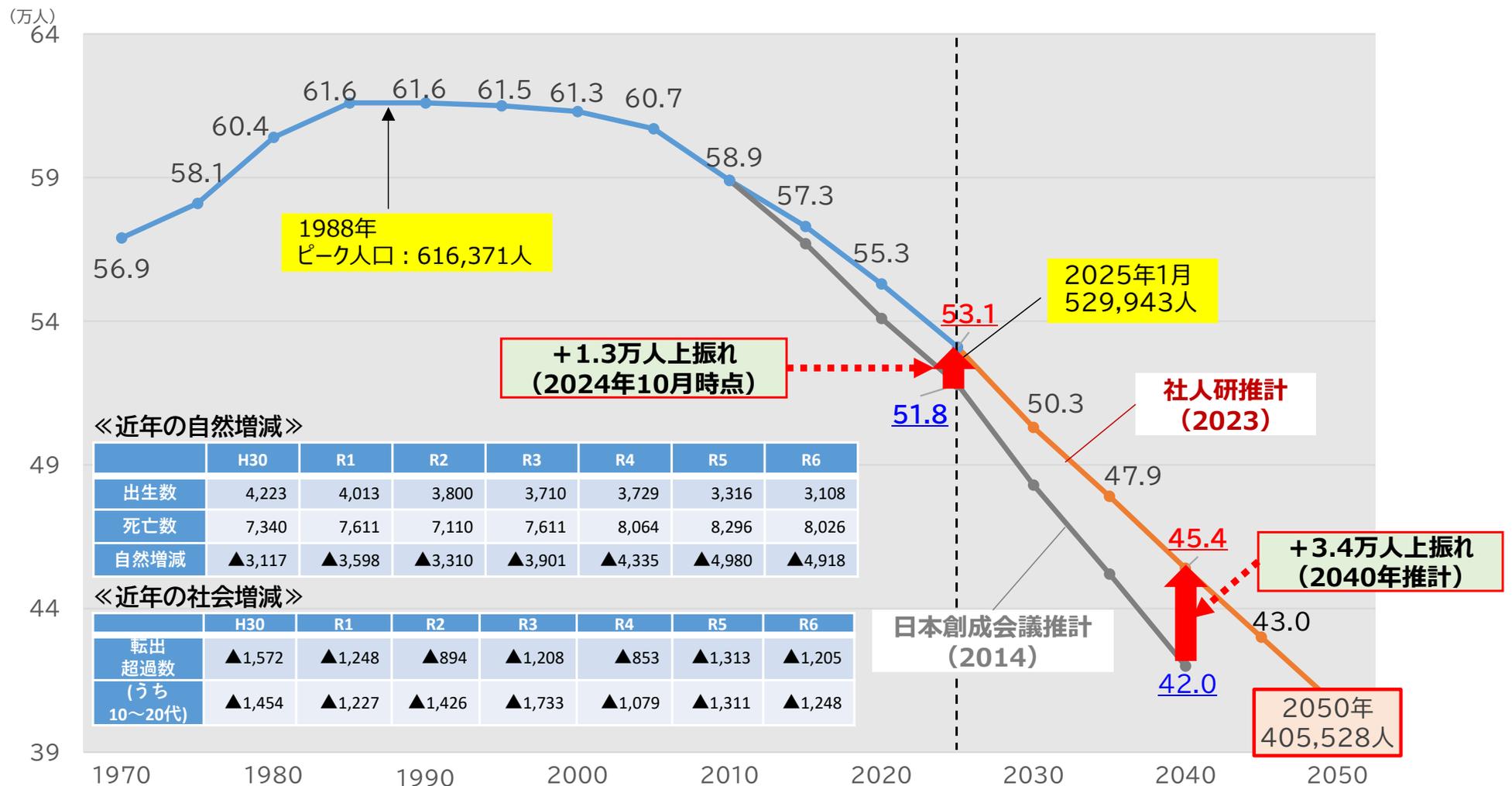
# 人口減少の現状と将来展望～鳥取県人口の長期推移～

○本県の人口は、53万人割れ(2025年1月時点)になったものの、地方創生推進の契機となった日本創成会議推計(2014)と比較すると、2024年10月の実測値ベースで約1.3万人の上振れ。

⇒これまでの人口減少対策により一定程度の効果が出ている状況。

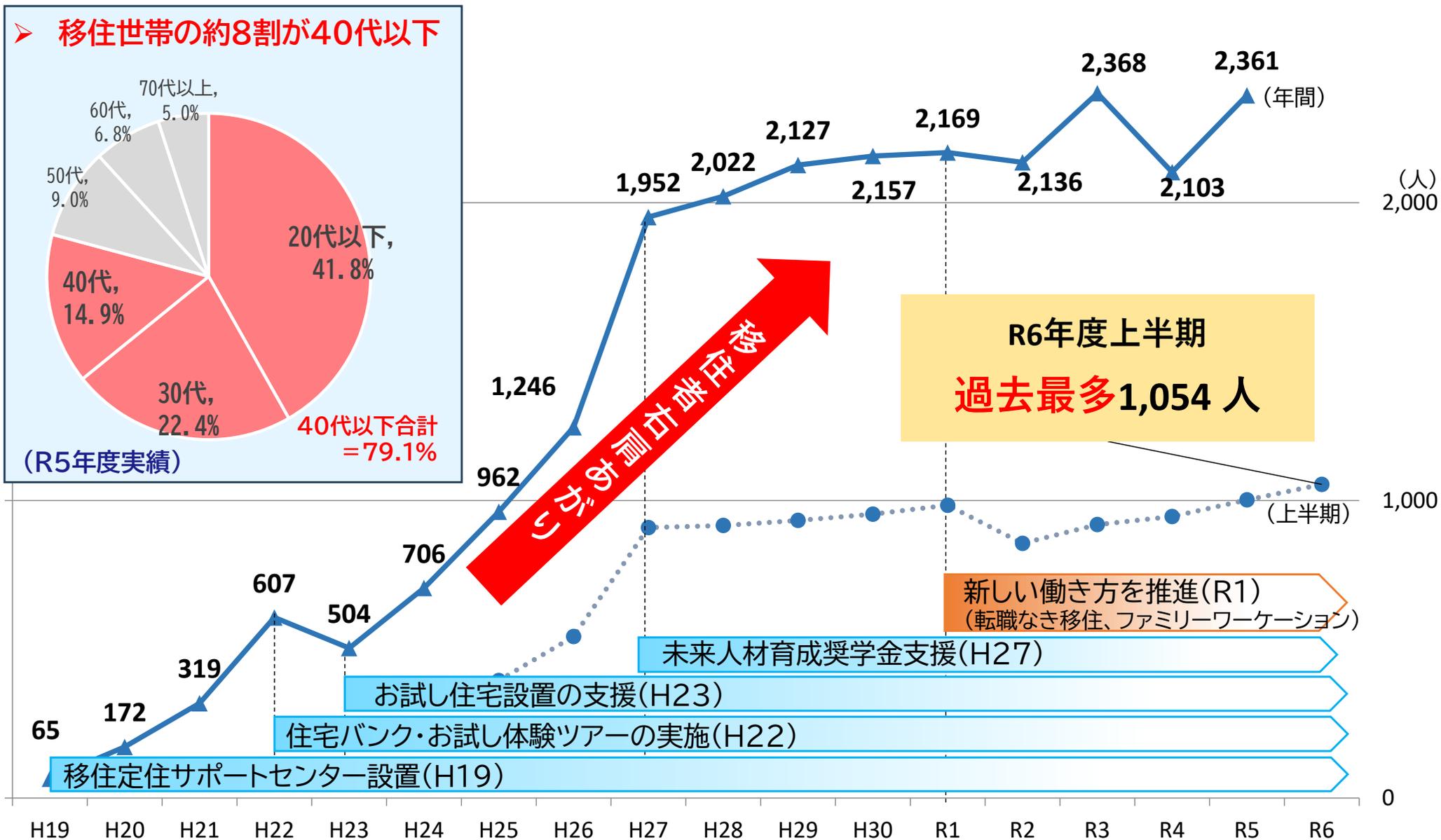
○しかしながら、人口減少幅としては拡大傾向であり、減少に歯止めがかかっていない状況は継続。

⇒社人研推計では、2050年における本県の推計人口は40.6万人。



# 本県への移住者数の推移

- 全国に先駆けて移住定住施策を開始(H19～)・充実により移住者は右肩あがり  
 ⇒子育て環境の良さ等を理由に、**特に40代以下の若い世代の移住が好調**



# 日本創生に向けた人口戦略フォーラムinとっとり(R6.11.30)



- 「若者・女性にも選ばれる地方」の実現に向け、若者・女性や政財界のキーパーソンが鳥取に集結。
- 地方が主役となった日本創生実現を誓う『とっとり宣言』**  
⇒各界各層が広く連帯して東京一極集中の是正と人口減少問題を克服していく国民的運動が鳥取県からスタート。

## ➤ 基調講演 (三村明夫 人口戦略会議議長)

### ➤ シンポジウム①

『人口一極集中の是正と地方における人口減少対策』

コーディネーター：増田寛也 人口戦略会議副議長

パネリスト：赤澤亮正 経済再生担当大臣、中国5県知事、金子隆一 元国立社会保障・人口問題研究所副所長

## ➤ 若者・女性セッション

### ➤ シンポジウム②

『働きやすい環境づくりと企業の生産性向上～若者・女性・子育て世代に選ばれる職場を目指して～』

コーディネーター：翁百合 日本総研理事長

パネリスト：矢田稚子 内閣総理大臣補佐官、大関雄資 日本銀行松江支店長、坂本哲 (株)アクシス代表取締役 ほか

### ➤ シンポジウム③

『安心して住み続けられる持続可能な地域づくり』

コーディネーター：辻琢也 一橋大学教授

パネリスト：陶山清孝 南部町長、神戸貴子 N.K.C(ナッシング)アーポーレーション代表、星野大輔 智頭町複業協同組合専務理事 ほか

## ➤ 石破茂 内閣総理大臣スピーチ

『**人口減少対策は、成長戦略そのものだ**』  
(三村明夫 人口戦略会議議長・前日本商工会議所会頭)



『これからの時代は、危機管理を善として、楽しさを美德とする、そういう日本を創ること。  
**子育て世代の方たちが楽しいと感じられる日本を作るとのことだ**』  
(赤澤亮正 経済再生担当大臣)



『**重要なのは職場・地域の意識・構造の変革であり、若者・女性にとって「魅力ある働き方・職場づくり」。**地方創生2.0の核心だ』

『**国を変え歴史を変えるのは、いつも地方。**(略)地方から人も金も首都に全部集まるっていうのは、明治以来国家としてやってきた国策だ。**わざと作った政策は、わざと変えていかなければ、国は変わりません。**』(石破茂 内閣総理大臣)

# 令和7年度の活動・実行の方向性（案）

若者Uターン・定住促進(社会減対策)の鍵は、  
“若者・女性にも選ばれる地域づくり”

- 情報発信ツールの強化  
⇒若者と企業・地域が繋がり続けるLINEアプリ「とりふる2.0」を構築
- 企業・地域との新たな接点づくり  
⇒若者と企業や大学・専門学校が交流する「交流FES」を開催 など
- Uターン・定住を後押しする支援の拡充  
⇒産業界と連携し、奨学金返還支援の対象を全業種に拡大 など
- 若者ネットワークの創出・進化  
⇒県内・県外の若者同士等による交流・ネットワーク化を強力に支援 など
- ふるさとキャリア教育の更なる充実・強化  
⇒企業・地域との繋がりを深め、「人」にスポットを当てた“魅力を知る”、  
“交流する”機会の充実 など
- 出会いの場・機会の創出  
⇒官民連携で、若者のニーズに沿った出会い・結婚を支援 など
- 女性が働きやすい職場環境づくり  
⇒アンコンシャスバイアスへの気づき促進、職場での課題解決に向けた実践 など

取組の実効性を高めるために若者・産学官が連帯が不可欠